

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会
(平成25年度第2回) 議事概要

1. 日 時 平成26年3月7日(金) 18:30~20:00
2. 場 所 九段第3合同庁舎 15階 会議室A~C
3. 出席者

[委員長]

石田 東生 (筑波大学大学院システム情報工学研究科教授)

[委員]

石渡 恒夫 (社団法人 神奈川経済同友会代表幹事)

久保田 尚 (埼玉大学大学院理工学研究科教授)

小濱 哲 (横浜商科大学貿易・観光学科教授)

二村真理子 (東京女子大学現代教養学部国際社会学科准教授)

牧野 昌子 (特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事)

[関東地方整備局]

道路部長 後藤 貞二

道路企画官 高井 嘉親

常総国道事務所長 浅古 勝久

横浜国道事務所長 森 勝彦

4. 議 事

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

平成26年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

- ・ 新規事業候補箇所の選定の考え方
- ・ 新規事業候補箇所説明資料

国道6号 牛久土浦バイパス(Ⅱ期)

国道246号 厚木秦野道路(伊勢原西~秦野中井)

<委員からの主な意見等>

■ 新規事業化候補箇所「牛久土浦バイパス(Ⅱ期)」

- ・ 新規事業化について了承。
- ・ 現在、一般国道6号が混雑しているだけでなく、周辺の細街路に一般国道6号の混雑を避けて迂回交通が入り込んでいる状況であり、整備の必要性が高い。

■新規事業化候補箇所「厚木秦野道路（伊勢原西～秦野中井）」

- ・新規事業化について了承。
- ・今回の新規事業化候補箇所は、国道246号の渋滞緩和だけでなく、事業中区間と一体となって新東名と東名を繋げ、大規模災害時の救助・救援ルートとしての重要な役割を担うと考えられるので、このような視点も整備効果に加えるべき。

■その他全般

- ・地元との協議状況、地元の熱意などを選定の指標とできないか今後、検討してほしい。
- ・防災の観点については、現在、（局所）対策が必要なものを抽出していると思われるが、広域的なネットワークの観点から、整備が必要な箇所も抽出できるよう今後、検討が必要ではないか。
- ・事業中区間を含めた、B/Cを算出しているのは良いことだが、更なる検討事項として、調査中区間のコストの精度は落ちるかもしれないが、調査中区間も含めたネットワークとして評価することも重要。全国レベルでの議論が必要ではないか。
- ・既に都市計画決定までされている事業について、新規事業採択時評価の段階で計画段階評価として、しいて代替案を立案し、比較評価を行うことは不自然であるため、そのやり方について今後、検討が必要ではないか。

以 上